

第9回講演会 2016. 3.19 (土) 鳥取大学医学部 記念講堂 (米子市西町)

「美味しく食べることを目指した次世代の摂食嚥下診療」

Session1 シンポジウム

司会：河本勝之（鳥取大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師） 箱崎五月（山陰労災病院 看護師）

『摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動、連携、課題と今後の展望 －山陰の認定看護師7名による初の報告』

シンポジスト：箱崎五月（山陰労災病院）

馬庭祐子（鳥根県立中央病院）

原田久美子（松江市立病院）

龍里智子（浜田医療センター）

中本恵美（藤井政雄記念病院）

福島素美（鳥根県立こころの医療センター）

林 裕子（介護療養型老人保健施設虹）

Session2 一般演題 座長：福永典子（松江市立病院リハビリテーション科）

『白血病の急激な症状の変動によりアプローチに難渋した嚥下障害例』

演者：鍋谷奈津未（鳥根県立中央病院 言語聴覚士）

『胃瘻での栄養管理から食べたい気持ちに応えて～やっぱり温かいご飯がおいしいです～』

演者：福田あゆみ（松江生協病院 看護師）

『当科嚥下チームにおける嚥下評価と手術の現況』

演者：平 憲吉郎（鳥取大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科）

Session3 特別講演 座長：藤原和典（鳥取大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師）

『味覚に注目した摂食嚥下療法』

演者：水田栄之助（山陰労災病院 第5循環器科部長）